

プラスチックごみを減らそう!



路地裏小さな弁当屋 sotoko
(大津市)



Instagramはこちらから

取組内容

路地裏から、美味しく無理なく“プラごみ”削減

路地裏小さな弁当屋 sotoko(ソトコ)は、容器シェアリング・サービス「リパコ」を導入しています。

sotoko で販売している「毎日食べたい sotoko 弁当」は、プラスチック容器を使うことへの抵抗感と紙の容器の使いやすさから、開店当初から紙製の弁当容器を使用しており、プラスチックごみを出さない方法で販売を続けてきました。また、スープジャーやタッパー持参での購入を希望されるお客様にも対応させていただいており、ごみそのものを発生させない販売方法も行っていました。こうした販売を行っていたこともあり、プラスチックごみを減らすという目的を同じくするリパコの導入を勧められた際、微力ながら参画させて頂くことにしました。

現在は、従来の紙の容器と並行してリパコによるお弁当の販売を行っています。(リパコ利用の場合は、前日までの予約をお願いしています。)



紙製容器の「毎日食べたい sotoko 弁当」



シェアリング弁当容器「リパコ」のお弁当

リパコを利用されたお客様からは、

- ・見た目のデザインも良いので、使用することでテンションが上がる
 - ・お母さんが自分のために作ってくれたお弁当のようで、暖かさを感じ、幸せな気持ちになれた
- など、ご感想をいただき、嬉しく思います。

また、遠方の方にも興味を持っていただくこともあり、お客様との繋がりが広がっていると感じます。

路地裏の小さなお店ですが、この取り組みを更に進めて、プラスチックごみ削減の意識づけを美味しく無理なく広めていきたいと思っています。

◆リパコって何?◆

「リパコ(Re+箱)」とは、「プラスチックごみを減らしたい」という想いのもと集まった参加店舗の「統一リユース容器」の名称です。参加店舗におけるテイクアウトメニューまたは食べきれなかった料理をリパコに入れて持ち帰ることができます。

リパコは、木の製品を製造・加工する過程で出される木くずをプラスチックと融合させたバイオマスプラスチック製品です。電子レンジや食洗器にも対応し、繰り返し使用が可能です。LINE 等で申込ができ、参加店舗にてデポジット料金1000円を支払うことで利用することができます。



参加店舗など、詳しくはコチラ →



娘さん手描きの暖簾でお出迎え

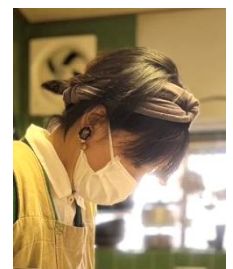
路地裏小さな弁当屋 sotoko

〒520-0044 滋賀県大津市京町 4 丁目 5-23
Tel:090-2068-1509

Instagram : https://www.instagram.com/sotoko_bento/

事業内容: 自家製果実酢と麴の調味料を使った旬野菜たっぷりのお弁当の販売

インスタグラムを通じて、お買い物バッグの持参を呼びかけるなど、お客様に環境意識を持っていただけるような啓発・取組を行っています。現在ご希望のある方のみ無料でお渡ししている使い捨て箸ですが、この春からは有料化を検討しており、更なる環境配慮に向けた意識づけを路地裏から発信していきたいと思っています。



店主 照屋 真理さん